

国連会議

「京都宣言」を採択

観光公害対策に言及

国連の世界観光機関(UNWTO)と教育科学文化機関(ユネスコ)主催による国際会議「国連観光文化政策会議」が、1月3日、日本・京都府の京都市で開かれ、文化政策に関する「京都宣言」を採択した。また、「京都モデル」を推進する旨を呼び掛けた。

国連の世界観光機関(UNWTO)と教育科学文化機関(ユネスコ)主催による国際会議「国連観光文化政策会議」が、1月3日、日本・京都府の京都市で開かれ、文化政策に関する「京都宣言」を採択した。また、「京都モデル」を推進する旨を呼び掛けた。

「京都モデル」世界へ訴え

会議は世界に国連観光文化政策を普及させることを目的として、京都府と京都市が中心となり、70カ国の政府関係者らが集り、観光政策のあり方について議論した。また、観光文化政策のあり方について議論した。また、観光文化政策のあり方について議論した。



京都市長を招いた関係者ら(左から2人目が京都市長)

体験型観光が日本を盛り上げる

多インシンの年令和元(2019)年の観光客数は、前年比1.1%増の1億2,400万人に達した。観光客の増加に伴い、地方の観光産業は大きく伸びた。地方の観光産業は大きく伸びた。地方の観光産業は大きく伸びた。



静岡県内で観光素材を披露する田辺市長

家康の新書状、22年度公開

静岡市 都内で観光素材を披露

静岡市は12月10日、東京・芝公園の東京国立近代美術館で記者会見を開き、新書状の原本と複製品を披露した。新書状は、徳川家康が1600年に織田信長に宛てた書状で、徳川家康の政治理想が窺える。新書状は、徳川家康が1600年に織田信長に宛てた書状で、徳川家康の政治理想が窺える。

宿泊者数6%の増加

18年度 震災前水準になお届かず

福島の震災前は、2011年度の宿泊者数は、前年比11.1%減少した。震災後は、観光客の減少が続いた。震災後は、観光客の減少が続いた。震災後は、観光客の減少が続いた。

地域観光

観光客の増加に伴い、地方の観光産業は大きく伸びた。地方の観光産業は大きく伸びた。地方の観光産業は大きく伸びた。

2019年度の認定地域

都道府県	市町・地域	実行組織
長野県	小諸市	一般社団法人こもろ観光局
長野県	山ノ内町	山ノ内町グリーン・ツーリズム協議会
愛知県	南知多町	南知多農泊推進協議会
鳥取県・兵庫県	因幡・但馬地域(※1)	一般社団法人麒麟のまち観光局
愛媛県	八幡浜市	一般社団法人八幡浜市ふるさと観光公社
長崎県	島原半島地域(※2)	一般社団法人島原半島観光連盟

※1は鳥取県(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)、兵庫県(香美町、新温泉町)
※2は島根県(松江市、島根市、南島原市)

SAVOR JAPAN 新たに6地域認定 農水省

農水省は、食の観光を推進するため、新たに6地域を認定した。認定された地域は、長野県小諸市、長野県山ノ内町、愛知県南知多町、鳥取県・兵庫県因幡・但馬地域、愛媛県八幡浜市、長崎県島原半島地域である。

爪木崎に300万本 1月末まで水仙まつり

下田市は、1月末まで水仙まつりを開催する。水仙は、下田の観光資源の一つであり、多くの観光客を呼び寄せる。水仙まつりでは、水仙の鑑賞だけでなく、さまざまなイベントも開催される。

JR西日本 3県の観光素材を紹介 北陸キャンペーンで

JR西日本は、北陸3県(富山県、石川県、福井県)の観光素材を紹介するキャンペーンを実施する。キャンペーンでは、北陸3県の観光資源を紹介するだけでなく、さまざまなイベントも開催される。

地域活性化へ連携協定 平泉とREVICなど5者

平泉市とREVIC(復興・経済・文化・観光・観光)など5者は、地域活性化を目的として連携協定を結んだ。連携協定では、平泉市の観光資源を紹介するだけでなく、さまざまなイベントも開催される。

冬の宿泊キャンペーン 長野県 特産品プレゼント

長野県は、冬の宿泊キャンペーンを実施する。キャンペーンでは、長野県の特産品をプレゼントするだけでなく、さまざまなイベントも開催される。

台湾から誘客図る 山陰インバウンド機構

山陰インバウンド機構は、台湾からの観光客を誘客するためにさまざまな施策を実施する。施策には、台湾からの観光客を紹介するだけでなく、さまざまなイベントも開催される。

竹灯籠イベント 1月25日から

みなが町は、1月25日から竹灯籠イベントを開催する。イベントでは、竹灯籠の鑑賞だけでなく、さまざまなイベントも開催される。